



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 22日

いわき市長 様

提出者

住 所 福島県いわき市泉町下川字大剣386番地

氏 名 日産自動車株式会社 いわき工場

工場長 平田 征志 印

電話番号 0246-75-1128

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日産自動車株式会社 いわき工場
事業場の所在地	〒971-8183 福島県いわき市泉町下川字大剣386番地
計画期間	令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	輸送用機械器具製造業、自動車・同附属品製造業 自動車部品・同附属品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 19,499百万円(令和3年度)
③従業員数	887人(令和4年4月末現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1(製造工程・産業廃棄物の発生工程フローシート)参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
【本社】 グローバル環境統括委員会(委員長：社長) 本社事務局・日本生産事業本部 生産技術部 設備・安全グループ ゼロエミッション推進組織(委員長：副社長) 事務局：生産技術部 設備・安全グループ			
【いわき工場】			
工場長(廃棄物管理統括責任者)		工場環境委員会(委員長：工場長)	
管理課(廃棄物管理担当課長)		製造課	
環境エネルギー(産廃及び特管産廃管理責任者)		CAST係、加工係、物流係、保全係	
総務・人事、生産管理、品質保証、 生産技術、保全技術、工具技術		組立自動機係、組立ファイル係、 組立テスト係	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(令和3年度)実績】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・水処理油泥の微生物処理有価物化(令和3年実績、237 t/年) ・廃プラスチックの有価化(令和3年実績、15 t/年)		
②計画	【目標】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・水処理油泥の微生物処理有価物化(継続実施) ・廃プラスチックの有価化(継続実施) ・木屑：木製パレットの有価物化(新規アイテム)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	工程毎に発生する廃棄物に対して、種別毎に人による分別保管を実施している。		
②計画	分別の精度が維持されていると判断し、継続実施する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	有機無機混合汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	21 t	— t
	(これまでに実施した取組) ・脱水プレスによる汚泥中含水量の低減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機無機混合汚泥	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	100 t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・脱水プレスによる汚泥中含水量の低減 (継続実施)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度(令和3年度)実績】 別紙3-1の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙3-2の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。